

進路指導の高校現場から

島根県教育センター
教育企画部長
佐藤 誠

本日お話しすること

- 1 自己紹介
- 2 大学入試が与える影響
- 3 大学入試での英語4技能の評価
- 4 大学入試での記述式問題の出題
- 5 高大接続・入試改革に望むこと

1 自己紹介

(1) 佐藤 誠 (さとう まこと)

(2) 数学教育 32年目

進路指導担当教諭 19年 (内主事 7年)

管理職として進路指導分掌担当 3年

(進学校・特別支援学校高等部)

(3) 現在勤務先 島根県教育センター

教育企画部

2 大学入試が与える影響

- ・ 大学入試、高校教育、大学教育の役割
三位一体の改革
- ・ 英語4技能の育成・評価
- ・ 思考力・判断力・表現力の育成・評価

理念はよい。 ⇒ 過程と実施上の問題

2 大学入試が与える影響

令和元年6月

共通テストでの英語資格・検定試験活用に係る説明会

「AとBのどちらの方が」

「資格・検定に向けた対策は」

- ・ 高校教育の延長線上に大学入試がある・・・

9月～ 不信感・不安感 ⇒ 打ち手(見通しの提示)

3 大学入試での英語4技能の評価

(1) 民間英語資格・検定試験活用について

① 民間英語資格・検定試験活用を

共通テストの枠組に含めないことに賛成

(問題点)

- * 異なる目的で作成された複数の試験を活用したこと
 - ・ 公平性が担保されない
 - ・ 実施上の課題
 - ・ 経済的な負担
- * 手段の目的化(資格・検定試験対策)
 - ・ 利益相反の懸念

3 大学入試での英語4技能の評価

(1) 民間英語資格・検定試験について

② 民間英語資格・検定試験活用は、
各大学のアドミッション・ポリシーのもとで、
共通テスト以外で利用されるとよい。

- ・ 高校2年生までの結果も認め、
総合型, 学校推薦型および一部の定員枠
の一般選抜等で活用

3 大学入試での英語4技能の評価

(2) Speakingを加えた英語4技能の評価

- ・一般選抜の個別学力試験, 総合型, 学校推薦型で各大学が必要に応じて実施する。

(3) 提案

共通テストの枠組内で英語4技能を評価されるのであれば、大学入試センター-に作成願いたい。

4 大学入試での記述式問題の出題

(1) 記述式問題を共通テストの枠組に含めないこと

に賛成

(根拠)

◆ぶれない採点が行われるのであればよいが、現時点、採点処理の実現は難しい。

- ・ 高校入試での採点の経験
- ・ 大学入試センター試験は良問が多かった。
- ・ 試行テストの記述問題から

(数理/問われる読解力)

4 大学入試での記述式問題の出題

(2) 記述式問題が各大学の個別学力試験で行われる ことに賛成

(根拠)

- ・ 大学入試センター試験と個別学力試験とのすみ分けはできている。
- ・ 個別学力試験の問題からのメッセージ
どんな力を育てほしいか。

(個別学力試験を実施しない募集単位をなくす。)

5 高大接続・入試改革に望むこと

(1) 主体性評価

- ・ 調査書の作成の負担
⇒ 高校・大学に実態把握
- ・ 調査書の電子化

(2) 2年前予告公表の順守

- ・ 特別な支援を要する受験生にとっては、2年間でも短い場合がある。

5 高大接続・入試改革に望むこと

- (3) まずは、公平性の担保 ⇒ 信頼の回復
専門家の知見を活用した慎重な議論・丁寧な説明
- (4) 共通テスト・個別学力試験
メッセージを具現化した試験問題
- ・ 良質な問題が、生徒に到達すべき目標になり、教員の指導の改善につながっている。